

平成26年度 高島健康福祉事務所(高島保健所) 組織目標・評価

■ 組織の使命

子ども、高齢者、障がいのある人をはじめとして、誰もがいきいきと健康で安心して暮らすことができる地域の実現を目指します。

■ 組織の経営資源

人員17名（医師、獣医師、薬剤師、保健師、管理栄養士、事務職員など）

■ 県民へのメッセージ

事業の実施を通じて地域住民の健康と福祉を支えると共に、関係機関や関係団体などと連携し地域課題の改善に取り組みます。

達成度
 ◎ 100%以上達成
 ○ 80%以上達成
 △ 60%以上達成
 × 60%未満

	課題 (何を)	具体施策 (どのように)	目標値 (どれくらい)	目標 (どんな状態にする)	達成状況	達成度	今後の対応
目標1	住民の健康を守るため災害や健康危機に対して関係機関団体と連携し対策を講じます	●健康危機管理調整会議を定期・随時に開催し、新型インフルエンザなどの感染症その他原因不明の健康被害などの発生予防、早期対応、拡大防止を図ります。	●定例開催年1回、および必要に応じて随時開催します。	●関係機関団体が情報共有しながら総合的な対応を図ることができ、住民の健康被害の発生防止・早期対応等が図られています。	●定例会議を8月7日に開催し、集団的健康被害の発生時における連絡系統を確認するなど、各関係機関の対応について情報共有を図りました。 ●エボラ出血熱患者発生時における対応訓練に参加するとともに、消防機関との協力体制について情報共有を図りました。	◎	・今後とも、各関係機関と連携を密にし、マニュアルの整備・見直し等を通じて、健康危機に対する的確に対応できるよう努めます。
		●災害時医療救護対策を推進します。	●関係機関・団体との定期的な会議(湖西地域災害医療体制検討委員会)を開催し平時および緊急時の体制整備を図ります。(年1回)	●災害発生時に迅速な対応を図ることにより、負傷者等の救助(治療)が円滑に遂行できるようになっています。	●委員会を8月7日に開催(健康危機管理調整会議と合同)し、災害時における各関係機関の医療救護活動について情報共有を図りました。 ●10月に震災時の業務継続計画を策定しました。 ●医療・救護初動マニュアル参集訓練、災害救助用備蓄物資払出訓練、原子力防災訓練等に参画しました。	◎	・「滋賀県広域災害時における医療救護活動指針」や「滋賀県緊急被ばく医療マニュアル」などに基づく訓練等に参加し、医療救護活動がより円滑に実施できるよう努めます。
目標2	健康福祉にかかる多様な住民ニーズに迅速な対応を図ります 【住民が健康でいきいきと暮らすための健康福祉情報の発信、健康増進・衛生知識の普及啓発】	●食中毒、感染症、こころの健康などの専門知識を有する職員を「健康教室」や「研修会」へ講師として無料で派遣し、住民の健康増進や衛生知識の向上を図ります。	●健康教室・研修会を年20回開催(派遣)します。	●健康増進への住民理解が深まっています。 ●住民に衛生知識が浸透し食中毒、感染症の予防や拡大防止が図られています。	●食中毒予防や禁煙などについて講習会を開催し、衛生知識の向上と健康増進への理解を深めました。 ・健康教室・研修会 25回(H27.3月末)	◎	・「湖西の健康福祉だより」、ホームページ等で紹介することで、関係機関・団体に活用いただけるよう促します。

	課題 (何を)	具体施策 (どのように)	目標値 (どれくらい)	目標 (どんな状態にする)	達成状況	達成 度	今後の対応
		<ul style="list-style-type: none"> ●健康福祉情報の積極的な提供を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「湖西の健康福祉だより」を年4回(約1,900部/1回)関係機関・団体へ発行し、健康福祉情報を積極的に発信します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●最新で正確な健康・衛生情報を住民が入手しやすくなり、生活に役立っています。 ●健康福祉行政への信頼感により一層高まっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「湖西の健康福祉だより」を発行し、健康衛生情報を発信しました。(各1,900部) ●6月：初夏号(VOL.65) 特定疾患、不妊治療、熱中症、風しん予防等 ●9月：初秋号(VOL.66) 特定疾患更新、医薬品適正使用、相談窓口案内等 ●11月：初冬号(VOL.67) 指定難病、ノロウイルス毒キノコ、福祉用具等 ●2月：早春号(VOL.68) 野菜たっぶり店、狂犬病予防注射、福祉用具、講演会案内等 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ●計画どおり年4回発行し、地域の方々にタイムリーな情報提供を行いました。今後も、紙面に工夫をしながら、積極的な情報発信に努めます。
目標3	障がい者の社会参加を促進し、自立を支援します	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関・団体と協働し、障がい者の一般就労に向けた支援を行います。 ●精神障がい者の退院・地域移行が円滑にいくよう支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一般就労に向けた支援として、精神障がい者3名に対し、精神保健職業リハビリテーション事業の活用を図ります。 ●新たに精神障がい者1名が地域移行できるよう、関係機関・団体等と連携しつつ必要な支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者が生きがいをもって仕事に従事し、日々充実した生活が送れています。 ●精神障がい者が住み慣れた地域でいきいきと生活しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●精神保健職業リハビリテーション事業 継続：1名 新規：なし(新規利用に向けたケース会議：2名) ●地域移行については、コンパスでの一般相談(H26:12名)がありましたが、個別給付に至るケースはありませんでした。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ●精神保健職業リハビリテーション事業については、今後も引き続き、新規利用の促進に努めます。 ●地域移行の促進については、個人の意向を尊重しつつ、引き続き関係機関・団体等が連携し支援に努めます。
目標4	高齢者等の医療福祉を支えます	<ul style="list-style-type: none"> ●「医療福祉を推進する高島地域協議会」が中心となり、高島地域医療福祉ビジョンに基づく事業を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「医療福祉を推進する高島地域協議会」(年2回開催) ●高島地域医療福祉ビジョンに基づき、研修、啓発などの事業を各構成機関・団体との協働も含め実施するとともに、2年間の事業評価を踏まえて高島地域医療福祉ビジョンの見直しを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●高島地域医療福祉ビジョンの実現に向けた、住民誰もが最後まで地域で安心して自分らしく暮らせて看取られる医療福祉の取り組みが進みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域協議会を8月7日、3月16日に開催しました。今年度は高島市が実施する在宅医療推進地域モデル事業と連携することにより、事業の推進を図ることができました。 ●高島地域医療福祉ビジョンについては、策定後3年経過し、その間の状況の変化等を踏まえた所要の見直しを行いました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●高島地域医療福祉ビジョンに基づく事業の推進にあたっては、地域医療構想や高島市介護保険事業計画による事業と調整・協働しながら、地域の医療福祉を効率的・効果的に推進します。

	課題 (何を)	具体施策 (どのように)	目標値 (どれくらい)	目標 (どんな状態にする)	達成状況	達成 度	今後の対応
			<ul style="list-style-type: none"> ●地域の保健、医療および福祉の連携および調整を図ります。 ●病期に応じた医療提供体制の充実を図るため、地域の医療連携による地域連携クリティカルパスの推進を図ります。 ●脳卒中連携クリティカルパスの運用件数 10件 	<ul style="list-style-type: none"> ●役割に応じた機能整備が図れます。 ●総合的な保健医療提供体制の充実が図れます。 ●質の高い在宅医療の提供につながります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域協議会の開催や市・各関係機関団体の会議等への参画、事業の共同実施等により、地域の保健、医療および福祉の連携調整・推進を図りました。 ●10月に在宅療養啓発チラシを全戸配布 ●12月、1月に在宅医療介護従事者研修会を高島市との共催で開催 ●3月に在宅療養と看取りをテーマに医療福祉を推進する講演会を開催 ●脳卒中連携クリティカルパスの運用件数 27件 (H27.2月末) 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ●市、各機関団体と役割分担しながら、連携・協働による効率的・効果的な事業推進を図ります。 ●クリティカルパスの運用件数が増加し、病期に応じた医療連携が推進されています。今後も高島市医療連携ネットワーク運営協議会と連携しながら、パスの推進を図ります。
		<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関・団体と協働し、情報共有を図るとともに、認知症に関する正しい理解の普及と支援ネットワークの構築を行います。また研修事業を開催し関係者の力量アップを図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症相談医フォローアップ研修会(年1回)を開催します。 ●多職種協働研修会(年2回)を開催します。 ●認知症理解を深めるための講演(研修)会(年1回)を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●関係者の認知症に対する理解が深まり顔の見えるネットワークが構築されるとともに、管内の課題に対しての解決策を具体的に提示できるようになっています。 ●認知症に対する住民や関係者の理解が進み地域全体で支え合うことができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症相談医フォローアップ研修会を高島市医師会との共催により11月25日に開催 参加者：52人(うち医師9人) ●認知症ケア職種協働研修会(3月12日・市主催)に参加 ●認知症理解を深めるための講演会(認知症フォーラム)を市主催、地域協議会共催により9月23日に開催 参加者：181人 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症に対する正しい理解の普及や支援者のネットワークの構築、人材育成が一層図られるよう、関係機関・団体と協働しながら、引き続き研修会等を実施します。
目標5	食の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ●高島保健所食品衛生監視指導計画を策定し、計画に基づいて監視指導を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●食品衛生監視指導：1100件 	<ul style="list-style-type: none"> ●食品衛生情報の発信が図れます。 ●食品営業施設の衛生向上が図れます。 ●食品の安全確保につながります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●食品衛生監視指導を通じて、食品営業施設の衛生向上および食品の安全確保を図りました。 ●食品衛生監視指導 1,152件 (H27.2月末) 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度管内において食中毒が発生したことから、引き続き、監視指導を通して食品営業者への啓発を行っていきます。